



長安は、中国の西に位置する悠久の歴史を持つ古都。現在の陝西省の省都西安市に相当する。

漢代に長安と命名され、前漢、北周、隋などの首都であった。唐代には大帝国の首都として世界最大の都市に成長した。シルクロードの起点とされることもある。また西都(さいと)、大興(だいこう)、西京(さいきょう)と呼ばれていた時期もあった。宋代以降は政治・経済の中心は東の開封に移り、長安が首都に戻ることはなかった。

西域に近かったこともあって、王朝の隆盛とともに国際都市となっていた唐代の長安は周辺諸民族が都城建設の模範とした。日本でも平城京や平安京は長安に倣ったと考えられており、日本において平安初中期の詩文の中で、平安京を指して長安と書いている例が見られる。やがて平安京は現在に至るまで洛陽に例えられるようになり、とりわけ南北朝頃からは、洛陽の西方にある副都になぞらえて、長安は平安京の右京(西京)の異称となった。

(Wikipediaより 最終更新 2018年5月10日 <https://ja.wikipedia.org/wiki/長安>)



中国古箏 李瑜(リュ)

中国西安出身。幼い頃から魏軍に師事、中国古箏演奏家、西安音楽学院準教授、陝西省秦箏会常務理事、『秦箏』雑誌専属編集長、西安秦箏楽団の団長として活躍。

2006年、西安音楽学院で修士学位を取得し、留任してからの十二年間で数回優秀教師賞に評価された。2005年、箏のソロリサイタルを開催。2008年、魏軍教授作品のコンサートにゲストとして出演。2009年、西安音楽学院建校60周年記念コンサート・箏に出演。2017年、中華人民共和国主催の第六回全国青少年民族楽器教育成果賞に選ばれた。

韓国、日本、シンガポールなどの各国で学術交流会や国際音楽フェアに出演した。



二胡 張冀文(チョウキブン)

中国西安音楽学院準教授、二胡演奏家、中国音楽家協会二胡(にこ)学会理事、陝西省民族管絃楽学会二胡專業委員会副会長として活動中。

1987年西安音楽学院付属中学に入学、李長春教授に師事。1993年中国音楽学院に入学、張尊連教授や劉明源教授に師事、二胡と高胡を習い、2004年は西安音楽学院二胡専攻修士学位を取得した。

教師を初めて以来、数多くの学術論文を発表し、教材『二胡と外国バイオリン名曲』の出版編集にも参加した。2008年、文華芸術院校奨第三回全国民族楽器演奏コンクールで小型民族楽器団体金賞を受賞、同年学院教学成果一等賞を受賞した。2011年、第2回国際中国器楽コンクール二胡専門組金賞を受賞した。

韓国、シンガポール、アメリカなど各地の芸術交流活動にも参加し、出演した。



中国琵琶 趙静(チョウセイ)

中国西安出身、中国青年琵琶演奏家、西安音楽学院民族楽器学科準教授、中国民族管絃楽学会琵琶専門委員会常務理事、陝西(さんせい)省民族管絃楽学会常務理事。

幼い頃から中国琵琶を習い始め、韓慶平先生に師事。1988年西安音楽学院付属中学に入学、1944年学校推薦で西安音楽学院本学に入学。卒業後学校で講師を務め、2004年同年修士学位を取得。

国内外で数回のソロリサイタル、学術講座を行い、2014年『静語春秋』音楽会DVDを発行。マレーシア、日本、ドイツ、オーストリア、アメリカなどの国に招かれ文化芸術交流活動に参加。『交響』、『音楽探索』などの学術論文を発表、西安音楽学院にて数回に渡り優秀教師に選ばれた。



ピアノ 郭芳(グオフォン)

西安音楽学院ピアノ専攻卒業、今現在西安音楽学院作曲科ピアノ必修科目専任講師として在職。

国内外で様々なコンクールで受賞し、中国民族楽器の伴奏だけではなく、ジャンルを越えた様々な楽器とセッションすることで名を知られている。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集中!!

宗次ホールは
会員登録していただいた方に毎月無料で
新作チラシをご自宅にお届けします。

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール(052-265-1715)までお問合せ下さい。

交通アクセス
地下鉄柴駅⑫番出口より東へ徒歩4分

くらしの中にクラシック

宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~16:00
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)